

環境報告書 2021

Environmental report

東港金屬

 **scyclers**
CIRCULAR ECONOMY
group of companies

1 トップメッセージ

意識を変え行動することで循環活動の輪を広げて参ります

代表取締役 福田 隆

金属類の再資源化及び産業廃棄物中間処理会社である当社は、当社の業務そのものが「循環型社会」構築の一翼を担えることに誇りを持ち、ステークホルダーの皆様と力を合わせ、お預かりした資源である廃棄物等を最大限再資源化することで持続可能な環境作りに貢献しております。

当社昨年度「環境負荷低減の取り組み」の報告としては、コロナ禍の厳しい状況のため目標管理項目の幾つかが達成出来ませんでした。特に重点項目である「資源受入量の拡大」は、目標とする数値に僅かにおよびませんでした。この状況下でありながらあと一步の所まで資源受入ができましたことは、ひとえに皆様方からのご理解とご協力の賜です。心より感謝申し上げます。

現在、当社では再資源化原料の品質を上げるための取り組みの一つとして、千葉工場で、低品位ミックスメタルの選別プラントの導入を進めております。従来の金属選別処理後の残さに含まれている僅かな金属の選別を可能にし、資源の循環が更に向上することを目指しております。

また当社をコアとする東港金属グループは、グループ全体のミッションとして「サーキュラーエコノミーの実現」を掲げ事業展開を進めておりますが、このミッションを持続的に実現してゆくために、社名に「循環するものたち」の意味を込めた持株会社「サイクラーズ株式会社」を2020年9月に設立し、グループをホールディングス化した新たな体制へと移行致しました。

ホールディングス化によってグループ内の風通しを良くし、産業廃棄物処理業務をコアビジネスとしながら、ITそしてAIを活用し、今までの当社にはない技術をもつ企業とも連携し、循環活動の輪を更に広げて参ります。

グループ会社のトライシクル株式会社ではB to Bのフリマアプリ「ReSACO」と電子産廃委託契約書の作成システムEcoDraftを展開しております。

ReSACOは、世界初のB to B対応のプラットフォームアプリです。企業の使わなくなった物品を最適な形で必要な方に提供するマッチング機能と、資源リサイクル及び廃棄物処理を効率化、最適化する機能を持ち、サーキュラー・エコノミーを展開させます。千葉工場に隣接する20,000坪の敷地には中古家具1~2万点の保管能力を有するReSACOリサイクルセンターを設立し、大規模なリユース・リペア・リメイク・アップサイクル・部品取り等も進めております。



また、EcoDraftは電子産廃委託契約書の作成システムで、データでやり取りすることによって紙資源を削減し、業務効率の向上を目的として開発致しました。

いま世界は、人為的な要因による気候変動がもたらす天災の増加、目に見えて増え始めている地上、海中のごみの増加、宇宙でさえ人口衛星残骸のごみが増えているというニュースで溢れかえっています。環境破壊は止めることができないのではとも思われますが、意識を変えて行動することで次世代へ少しでも良い環境を残すことが今生きる人類に課せられた目標と捉えております。

サイクラーズグループとして一丸となり、SDGs「持続可能な開発目標」を達成する一助となるために、サーキュラーエコノミーの実現に向かって進んで参ります。

2 目次

1	トップメッセージ	1	6	事業活動と環境負荷	7
2	目次	1		マテリアルバランス、マテリアルバランス詳細	
3	編集方針	2	7	東港金属の責任と役割	9
4	東港金属株式会社について	3		事業所リサイクルフロー、環境安全管理の取り組み、環境にかかわる教育・コミュニケーション、地域との共生、事業所の安全衛生、情報セキュリティマネジメント体制	
5	環境マネジメントシステム	5	8	グループ会社紹介	20
	環境方針、環境マネジメント体制、目標設定及び達成状況			トライメタルズ株式会社 TML株式会社 トライシクル株式会社	

持株会社『サイクラーズ株式会社』設立

～経営統合により事業の集中と選択が機動的に行える組織体制を目指す～

グループ経営理念：サーキュラーエコノミーを実現する

- 1 テクノロジーにより、新たな再循環ループを創造する。
- 2 テクノロジーにより、静脈産業を楽しく、面白い産業に変える。
- 3 サーキュラーエコノミーを実現する過程で、楽しい働き方・生き方を提案する。

2020年8月25日 プレスリリースより抜粋

創業約120年、金属スクラップ、産廃物の処理等を行う東港金属株式を中核とする東港金属グループは、2020年8月25日開催の株主総会において、2020年9月1日をもってホールディングス体制へ移行することを決議し、サイクラーズ株式会社を持株会社として、その傘下に事業会社を置く体制となりました。

【会社ロゴ】



【設立の背景および目的】

グループの理念である「サーキュラーエコノミーを実現する」ことを強く推進するために持株会社制という形態を選択しました。

■グループ経営の見える化

複数の会社をグループ化することで、グループ全体の状況さらには環境ビジネス全体を俯瞰的に見て経営を行います。

■グループ最適事業ポートフォリオの形成

既存コア事業の持続的成長を図るとともに新規事業の成長のために、M&Aや事業売却を含め、事業の集中と選択が機動的に行える組織体制を構築いたします。

■ビジネスリスク分散

ビジネスリスクを分散させ、1社ですべてのリスクを負う事がないように、合併ではなく持株会社形態を採用致しました。

3 編集方針

サイクラーズグループの東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。また、本報告書にはサイクラーズグループ各社の業務紹介を掲載いたしました。

【対象組織】

環境目標設定及び達成状況の対象組織は、ISO14001と同じくサイクラーズ株式会社、東港金属株式会社及びTML株式会社としました。

当社では、2007年より【環境報告書】を作成しております。今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧になれます。
ホームページ <https://www.tokometal.co.jp/>

メディアへの広告掲載

プレスリリースに併せて、業界紙へ広告を掲載いたしました。数種類のタイプで掲載いたしました。下記はその例です。



全紙広告版



全3段広告版

【対象期間】

主に東港金属株式会社の第77期(2020年1月~2020年12月)をまとめたものですが、報告内容には出来るだけ最新の情報を記載するように努めました。

【準拠、参考ガイドライン】

環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を基に「環境報告書ガイドライン(2018年版)」を参考にして作成いたしました

【発行】

令和3年6月

【お問い合わせ先】

サイクラーズ株式会社 経営企画部
〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 U biz 大森 2F
TEL:03-6410-8797 FAX:03-5767-8870

4 東港金属株式会社について

4-1 会社概要

社名 東港金属株式会社 Toko Metal co.,Ltd.
 代表者 代表取締役 福田 隆
 創業 1902年(明治35年)7月
 資本金 1億円
 従業員数 142名(2020年12月末日現在)
 年商 70億円(2020年12月期)
 事業所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所
 持株会社 サイクルズ株式会社
 グループ会社 トライメタルズ株式会社
 TML株式会社
 トライシクル株式会社

4-2 事業概要

- ◆ 金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- ◆ 産業廃棄物の収集運搬及び保管積み替え、中間処理、再生並びに資源リサイクル事業
- ◆ リサイクル機器並びに中古の建設機械の販売及び輸出入
- ◆ 廃プラスチックのリサイクル事業
- ◆ 事務用機器の破碎及び解体の事業及び請負業
- ◆ その他

4-3 事業所ロケーション

東京事務所
 〒140-0013
 東京都品川区南大井6-17-17
 U biz大森2F
 TEL: 03-5767-8860(代)
 FAX: 03-5767-8870
 事務部門の一部サイト

本社/本社工場
 〒143-0003
 東京都大田区京浜島2-20-4
 TEL: 03-3790-1751(代)
 FAX: 03-3790-1755
 本社機能と都内立地の条件を活かした小回りの利くリサイクルプラント

千葉工場
 〒293-0011
 千葉県富津市新富52-1
 TEL: 0439-80-4545(代)
 FAX: 0439-80-4646
 1千馬力のシュレッダーを導入した大型処理プラント

4-4 沿革

1902年	創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属問屋を開業	2012年	産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定取得(除:埼玉県、福島県)
1947年	会社組織にし、(株)福田地銅店(製品問屋)と東港金属(株)(地金問屋)を設立		東京都で産業廃棄物処分の優良確認認定
1960年	東京精錬(株)(後の東京銅基合金工業(株))を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行う		本社第四ヤードを開設
1979年	東京銅基合金工業(株)と東港金属(株)の工場を京浜島に移転	2013年	千葉工場内に保税蔵置場の許可取得
1994年	電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、本社工場に設置		埼玉県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定
	産業廃棄物収集運搬業と中間処理業(切断・破碎)の許可を取得	2014年	千葉工場のプレッシュレッダー設置許可取得
1997年	東港金属(株)が東京銅基合金(株)を吸収合併する		千葉県で産業廃棄物処分の優良認定
2001年	家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる	2015年	千葉工場の施設としてプレッシュレッダー追加及び保管施設変更の許可取得
2002年	東京都とエコトライ協定を締結		東京都産廃エキスパート認定更新
2003年	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした本社第二ヤードを開設		千葉工場が自動車リサイクル法に基づく破碎業の許可を取得
2006年	本社および京浜島工場で、環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得		本社工場にベトナム処理機設置
2007年	東京都港区芝に東京事務所を開設	2016年	スクラップ船積み輸出開始
	千葉県富津市に千葉工場を開設		第五ヤードを開設、圧縮油圧切断機の稼働開始
2008年	本社第三ヤードを開設	2017年	福島県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定
2009年	千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得	2018年	東京都産廃エキスパート認定更新
	情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)の認証取得	2019年	天童支店を山形東根市へ移転し、東北支店と名称変更
	千葉工場をISO14001認証範囲に拡大登録		千葉工場 港ヤード開設
2010年	東京都産廃エキスパート認定取得	2020年	東北支店閉鎖
	天童支店開設		東京都産廃エキスパート認定更新
	本社工場に産廃選別ライン導入		千葉工場の再選別プラント完成 試運転開始
	家電リサイクル法の指定引取場所を開鎖		持株会社サイクルズ株式会社のグループ会社となる
2011年	東京都産廃エキスパート認定更新		

4-5 許可・認定・認証

- ◆ 産業廃棄物収集運搬業
- ◆ 産業廃棄物処分業(中間処理)
- ◆ 自動車リサイクル法に基づく破碎業(千葉工場のみ)
- ◆ 古物商
- ◆ 東京都 産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)
- ◆ 第一種フロン類充填回収業者登録
- ◆ ISO14001認証 本社・本社工場、千葉工場、東京事務所
TML株式会社 本社営業所
サイクルズ株式会社(認証見込み)
- ◆ ISO27001認証 本社・本社工場、千葉工場、東京事務所
サイクルズ株式会社(2021年4月24日登録)

東港金属及びTML株式会社(特別管理)産業廃棄物収集運搬業許可一覧表

*当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。当社及びTML株式会社のホームページからもアクセスできます。

2020年12月末日現在

取得都道府県	許可品目 (●は石綿含有物質を含む、◎は水銀使用製品廃棄物を含む、◎は石綿含有物質及び水銀使用製品廃棄物を含む)														特別管理産業廃棄物	優良産廃処理業者認定制度による優良認定			
	産業廃棄物																		
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	及び陶磁器くず	がれき類			廃酸PH2.0以下	廃アルカリPH12.5以上	廃石綿等
岩手県					◎	◎	◎	◎				◎	◎	●					◎
福島県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
茨城県		◎			◎	◎	◎	◎				◎	◎	●				◎	
栃木県		◎			◎	◎	◎	◎				◎	◎	●				◎	
群馬県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
埼玉県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
千葉県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
東京都	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
神奈川県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
長野県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●				◎	
静岡県					◎	◎	◎	◎				◎	◎	●				◎	
特別管理産業廃棄物															◎	◎	◎	◎	
千葉県															◎	◎	◎	◎	
東京都															◎	◎	◎	◎	
神奈川県															◎	◎	◎	◎	

※TMLは、千葉県の産業廃棄物の許可品目の中で、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずには自動車等破碎物を含みます。
 注)「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)の許可が合理化され、これまでは(特別管理)産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでした。平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

東港金属株式会社 産業廃棄物処分業許可一覧

2020年12月末日現在

取得都道府県	許可品目							優良産廃処理業者認定制度による優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	
千葉県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
東京都	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。当社及びTML株式会社のホームページからもアクセスできます。

5 環境マネジメントシステム

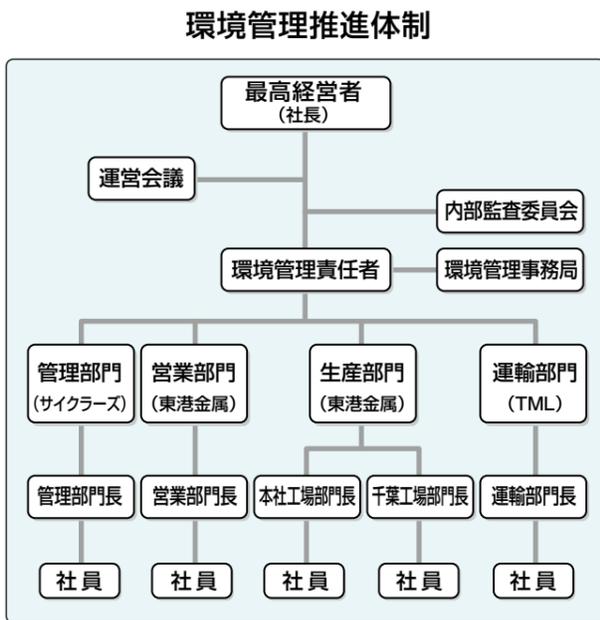
5-1 環境マネジメントシステム体制

当社は、事業活動を進める中の様々な過程において環境負荷が生じることを認識し、環境マネジメントシステムの元で事業の環境活動に関わるリスクを的確に把握し、対応することで環境負荷を低減させ、持続可能な開発目標を達成させるための環境方針を定めております。

環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させることで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめとする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるよう指導しております。

2006年6月にISO14001を取得致しました。社長をトップとする推進体制で、定期的にフォローアップをすることで可視化し、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めています。

また2009年7月にはTML(当時はトライマテリアル)株式会社を加え、2020年9月からは、持株会社サイクラーズのグループ会社として運営しており、サイクラーズ株式会社も環境マネジメントに含めた体制で推進しております。



5-2 環境方針

東港金属株式会社及びサイクラーズ株式会社(以下、「当組織」という)は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

- 当組織の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 当組織の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
- 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - 取扱商品の入荷量を拡大し、当組織より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
 - 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
 - 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
 - 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
 - 新計量システム安定稼働、ペーパーレス促進を推進し、紙の使用量削減に努めます。

2021年1月1日

サイクラーズ株式会社
東港金属株式会社

代表取締役 福田 隆

5-3 目標設定及び達成状況

◆環境負荷低減への取り組み

当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。

このページではISO14001の適用範囲(本社、本社工場、千葉工場、東京事務所、TML株式会社及びサイクラーズ株式会社)の76期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

部署	推進項目	76期目標		結果・数値	達成度
		目標	実績		
全社共通	資源受入量の拡大	(1) 営業力の強化(人員補強) (2) 仕入先の拡大(顧客拡大)	118,000t/年の達成	115,999t/年	対目標値に対して1.7%の未達成
	紙使用量の削減※1	(1) 計量システム導入 (2) 裏紙の使用 (3) 不要資料の削減徹底 (4) 配布資料及び配布先の適正化 (5) メール・電子化の推進	2,000枚/千tの達成	1,610枚/千t	対目標値よりも更に19.5%の削減達成
本 T M L 工場	燃料使用量削減(運搬車輛)	(1) アイドリングストップの励行 (2) アクセルの吹かし過ぎ防止 (3) 急発進の防止 (4) 効率的な積み降ろし・運搬 (5) 車輛の定期点検・整備	11,400ℓ/月以内の達成	11,181ℓ/月	対目標値に対して1.9%の未達成
	燃料使用量削減(重機)	(1) アイドリングストップの励行 (2) アクセルの吹かし過ぎ防止 (3) 効率的な積み降ろし・運搬 (4) 車輛の定期点検・整備	20,640ℓ/月以内の達成	21,877ℓ/月	対目標値に対して5.9%の未達成
	電力使用量の削減※2	(1) 破砕機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 → データー取り、改善推進 (2) 定期的メンテナンスの実施	10,100kWh/千tの達成	7,876 kWh/千t	対目標値よりも更に22.0%の削減達成
千葉工場	電力使用量の削減※3	(1) 破砕機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 → データー取り、改善推進 (2) 定期的メンテナンスの実施	48.0kWh/tの達成	50.0kWh/t	対目標値に対して4.1%の未達成
	シュレッダー稼働率アップ	ライン整備による ①稼働率アップ ②シュレッダーの停止時間の削減	累計稼働率94.2%の達成 停止時間172.0H/年以下の達成	稼働率93.8% 停止時間145.4H/年	対目標値よりも稼働率は0.4ポイント悪化 停止時間は更に15.4%の削減達成

※1 紙使用量原単位=コピー用紙 A4 換算使用枚数(枚) / (本社入出荷量 + 千葉工場入出荷量)(千t)

※2 電力使用量原単位(本社)=電力使用量(Kwh) / 本社品入出荷量(千t)

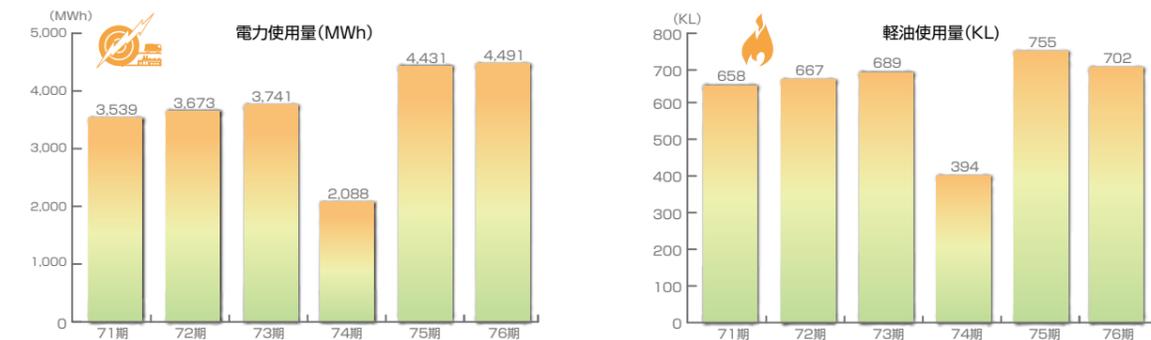
※3 電力使用量原単位(千葉工場)=電力使用量(Kwh) / 千葉工場入出荷量(千t)

注) ※2 及び ※3項目は、月平均で目標管理を行っておりますが、ここでは期末での累計値で達成状況を記載しております。

◆全社共通(推進項目の目標と実績)



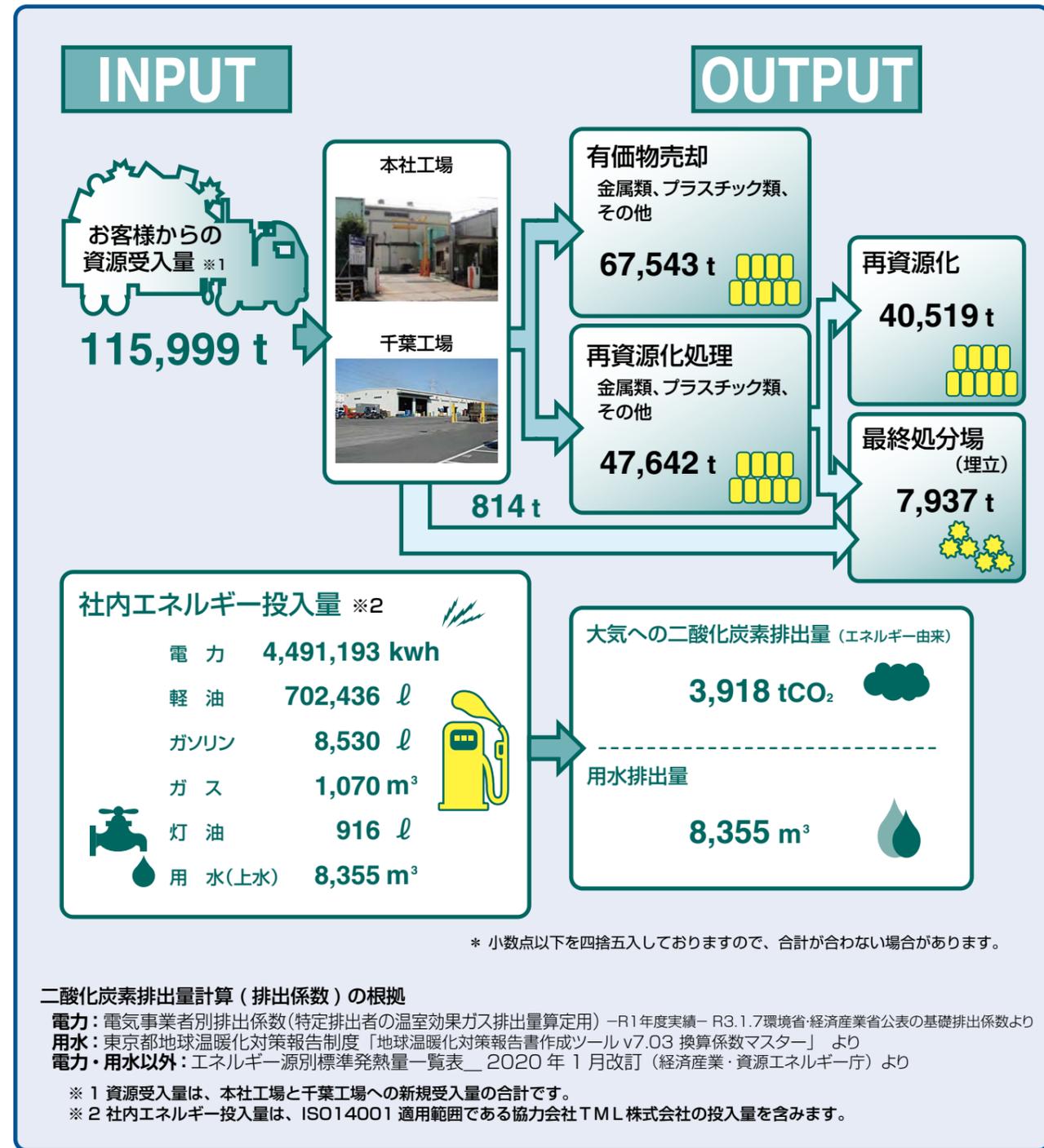
◆電力及び軽油使用量実績



6 事業活動と環境負荷

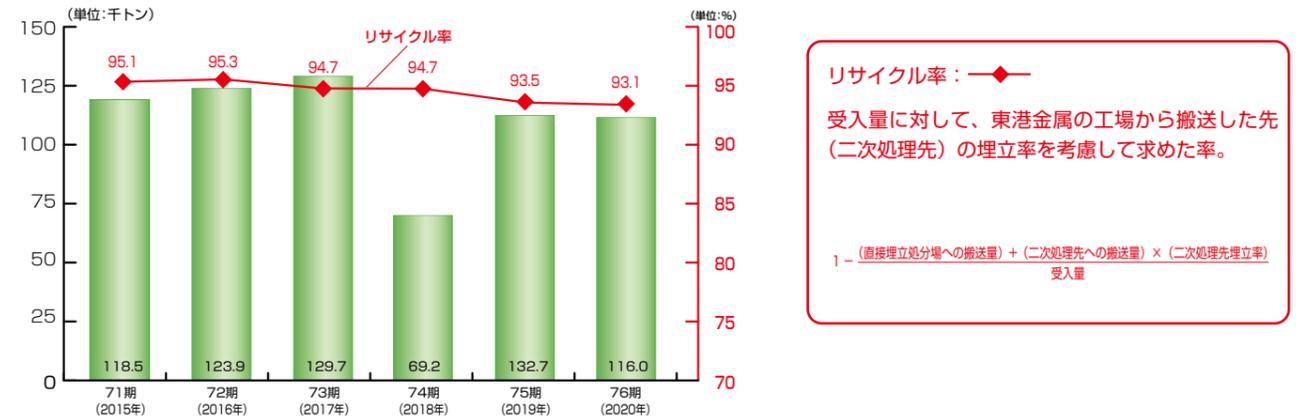
6-1 マテリアルバランス

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。第76期（2020年1月～12月）の主な環境負荷は以下の通りです。

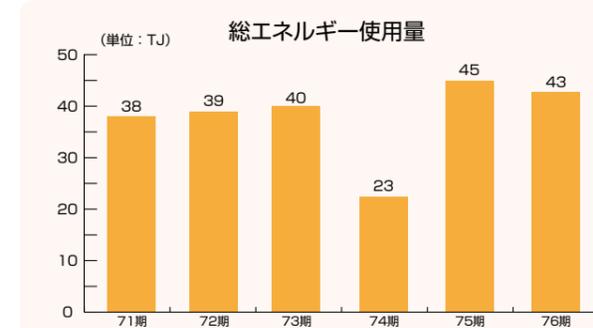


6-2 マテリアルバランスの詳細

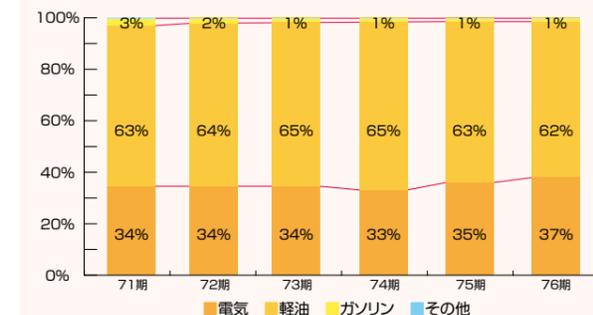
資源受入量とリサイクル率実績



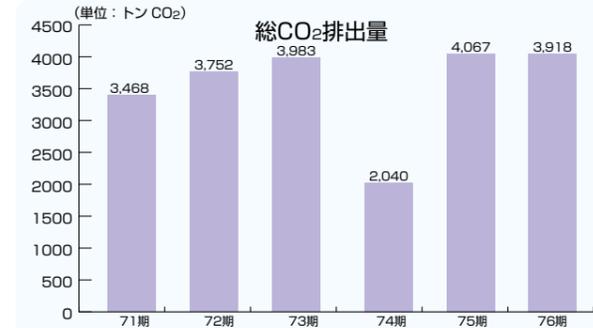
INPUT



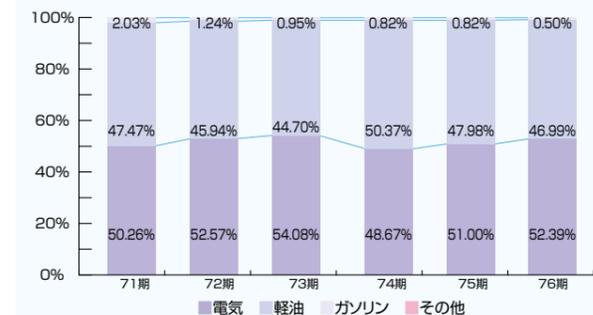
エネルギー種類別使用比率(用水を除く)



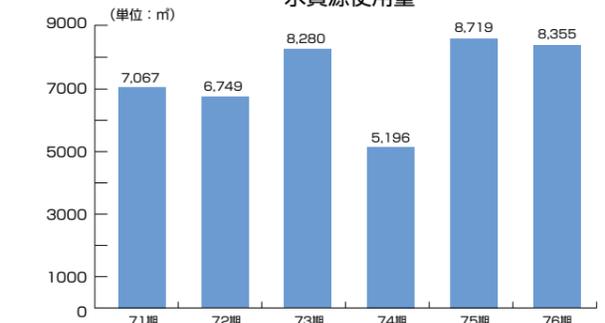
OUTPUT



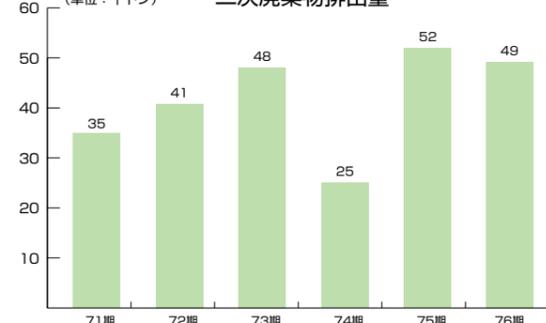
エネルギー種類別CO₂排出比率



水資源使用量



二次廃棄物排出量

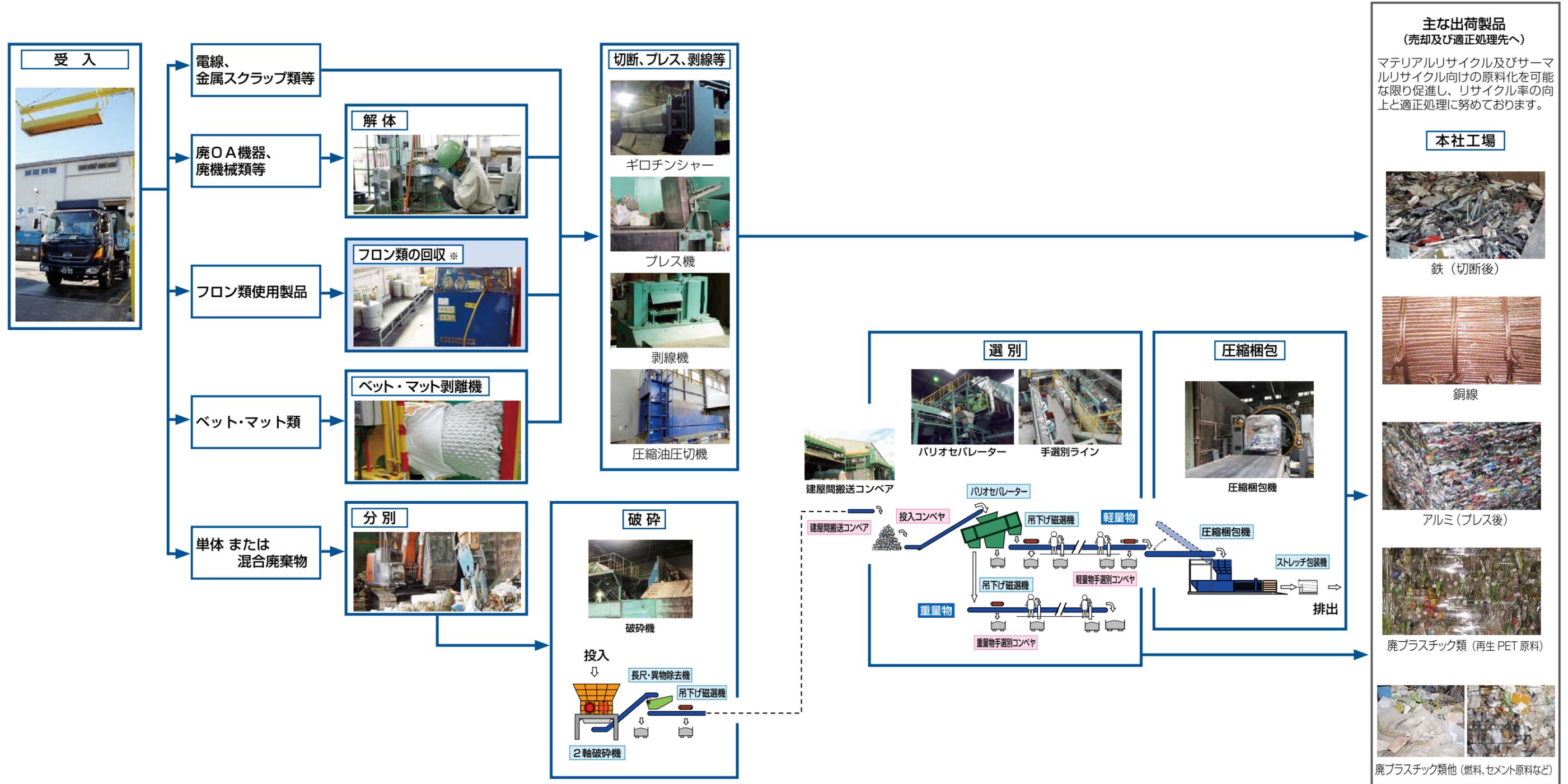


7 東港金属の責任と役割

7-1 事業所リサイクルフロー

本社工場リサイクルフロー

本社工場では、多品目の取り扱いと徹底した選別で、出来る限り資源として循環することを目指しております。



※フロン類の回収

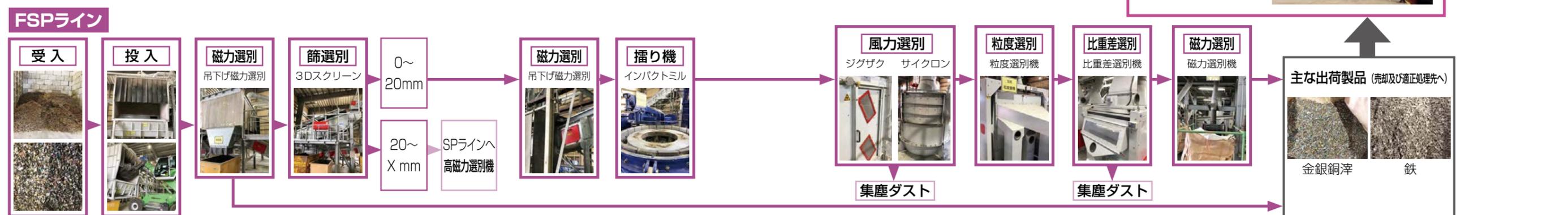
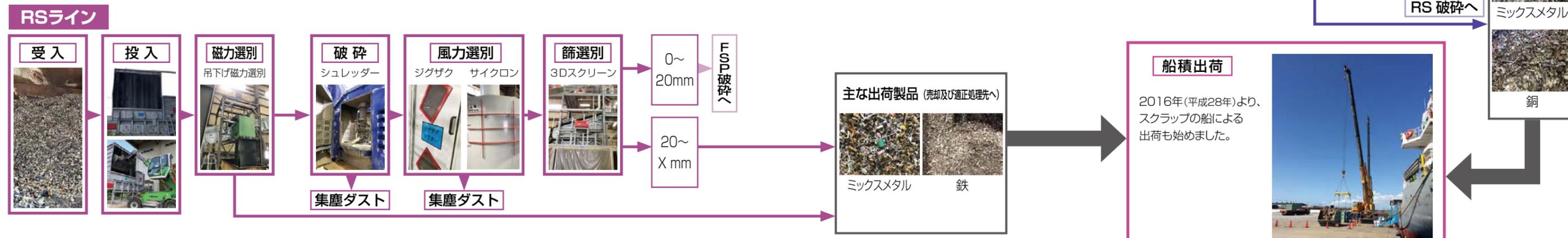
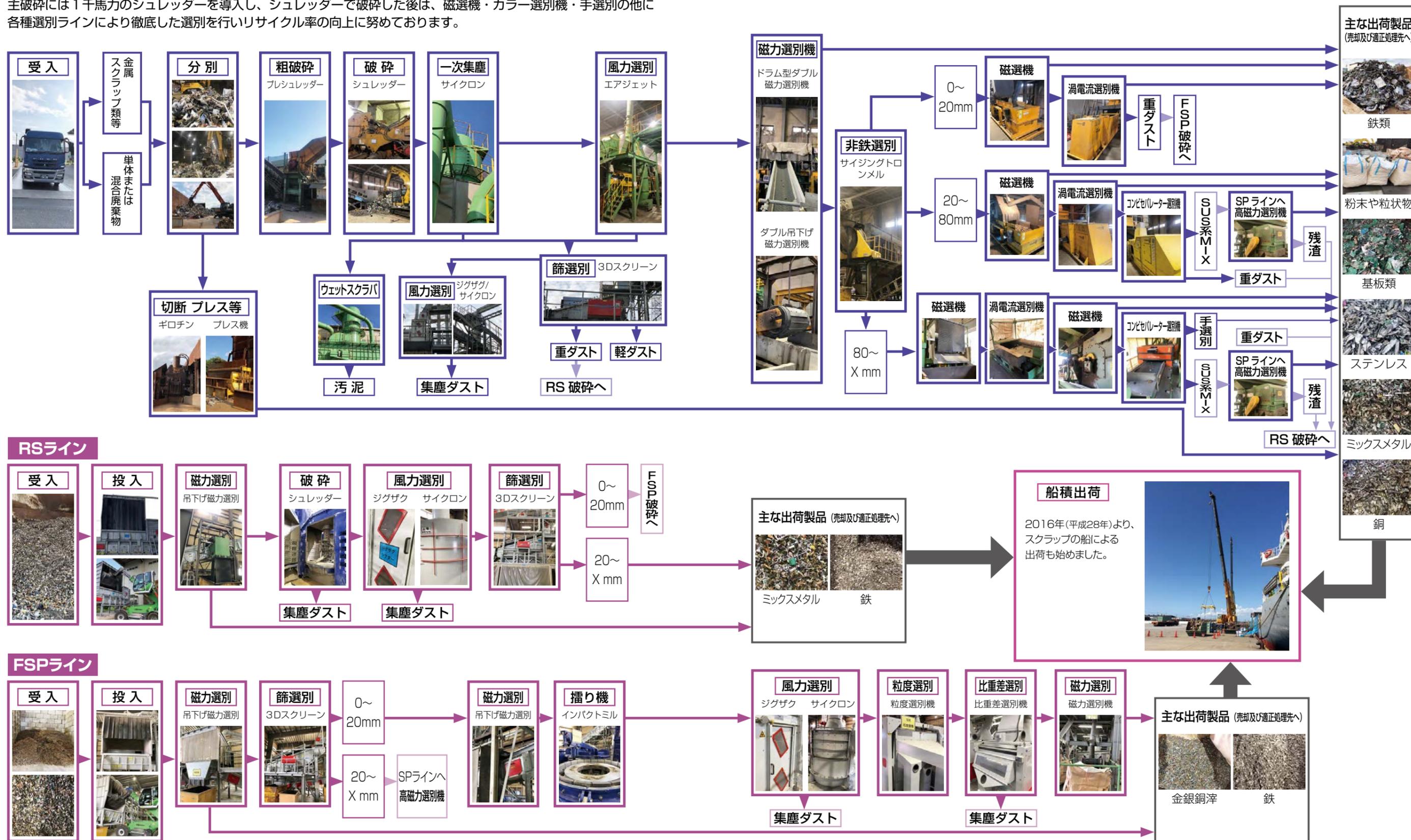
オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のため、オゾン層を破壊したり、地球温暖化に深刻な影響をもたらしたりするフロン類の大気中への排出抑制やフロン類使用製品からの漏えい防止を目的に、フロン排出抑制法（改正フロン回収・破壊法）が制定されております。

当社は、東京都の第一種フロン類充填回収業者として登録をし、搬入された業務用のエアコンや冷蔵庫の中に入っている冷媒用フロンを適正に回収し、破壊処理業者に引き渡しております。

気候変動が身近にも感じられています今、大気中に放出されるとオゾン層破壊や地球温暖化などを起こす一因となるフロンを正しく処理することで、フロン排出抑制法に対応して参ります。

千葉工場リサイクルフロー

千葉工場では、破碎と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。
主破碎には1千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破碎した後は、磁選機・カラー選別機・手選別の他に各種選別ラインにより徹底した選別を行いリサイクル率の向上に努めております。



7-2 環境安全管理の取組み

当社は、事業活動、製品及びサービスに付随して現れる汚染等の環境側面を常に認識して、周辺地域への環境に配慮しその予防に努めております。本社工場、千葉工場の業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じん、及び構内から排出される雨水中の含有物質を自主的に測定し、皆様に開示しております。

今事業期の測定値は規制基準値（場合によっては自主規制基準値）内でした。今後もわずかな問題点にも処置対応を怠ることなく、地域周辺の環境保全に努め、環境保全水準の向上を図って参ります。

下記環境調査結果の概要版は当社ホームページにも公開いたしております。



第76期 東港金属株式会社環境調査結果（騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水）

調査実施機関：株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第592号、音第7号、振動1号】

調査期日 本社工場：令和2年6月1日(月)、6月3日(水)
千葉工場：令和2年4月17日(月)、6月1日(月)

調査方法：適否の欄の記号は次のとおり。○：規制基準を満足 ×：規制基準を超過

1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(騒音レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	12:56~13:06	66dB	○	70dB(参考)	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界(南)	9:50~10:00	65dB	○	70dB	工場内の稼働音

注)本社工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。
千葉工場：工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(振動レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	12:56~13:06	47dB	○	65dB(参考)	工場稼働
千葉工場	敷地境界(南)	9:50~10:00	55dB	○	65dB	工場稼働

注)本社工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。
千葉工場：当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

3. 悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(臭気指数)	適否	規制基準
本社工場	敷地境界(東)	10:50	<10	○	13
	敷地境界(北)	10:55	<10		
千葉工場	敷地境界(北)	10:00	<10	○	—
	敷地境界(南)	10:15	<10		

注)本社工場：当該地域は工業専用地域であるため、第3種区域の基準値をあてはめた。
千葉工場：富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制値はまだ規定されていない。

4. 粉じん

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(総粉じん)	適否	規制基準
本社工場	敷地境界(東)	9:39~13:39	0.17 mg/m ³	○	1.5 mg/m ³ (参考)
千葉工場	敷地境界(南)	9:10~13:10	0.062 mg/m ³	○	1.5 mg/m ³ (参考)

注)東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した。

5. 雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

調査項目：
カドミウム、全シアン、有機機、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n-ヘキサン(鉱油)、n-ヘキサン(動植物油)、全窒素、全リン、水素イオン濃度(pH)、温度、汚濁消費量、1,4-ジオキサン

環境関連法規制遵守の現状

環境の法規制で当社及びTML株式会社に係るものは以下の通りです。
第76期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面	法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	主な該当施設等	主な該当部署	必要資格	
自動車運行	道路交通法	①自動車免許、速度制限、積載制限	運搬車輛・ 自家用車	運輸部門 営業部門	大型・ 普通免許	
	NOx・PM法	①規制対応車種 ②PM減少装置の取り付け	運搬車輛	運輸部門	運行管理者 試験合格者	
[業] *廃棄物の受入 *収集運搬(積換保管*) 及び処分業	廃棄物処理法 小電リサイクル法	①廃棄物の収集運搬(積換保管*)及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約：許可番号、事業の範囲、有効期限、 処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に負荷を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として 被処理物の受け 入れ	全体	収集運搬業 (積換保管*) 中間処理業 古物商	
[事業者] 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出		業務全般からの 排出			
水銀廃棄物の管理	水銀使用製品廃棄物	廃棄物処理法施行令	水銀廃棄物の適正な管理	運搬車輛	運輸部門	収集運搬業
[業] 廃家電品の積換保管	廃家電品	家電リサイクル法	①廃家電品の積換保管 ②家電リサイクル指定引き取り場所への搬出	積換保管場所	運輸部門	積換保管施設
[事業者] 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、 パソコン	家電リサイクル法 改正リサイクル法			事務部門 生産部門	—
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年 検査	トラックスケール (20t-40t-50t)	生産部門	—
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び 工場内設備	生産部門	—
フロン類の回収	業務用空調機・ 業務用冷蔵庫から のフロン回収	フロン排出抑制法	①東京都知事による登録 ②適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収設備等	生産部門 営業部門	第一種フロン類 回収充填業者 登録
フロン漏洩	フロン使用機器		エアコン機器の定期点検	フロン使用機器	全体	—
排気ガスの放出	非常用ディーゼル 発電機	大気汚染防止法	はい煙排出基準規制の遵守 はい煙量の測定監視	非常用ディーゼル 発電機	千葉工場	—
材料およびエネルギーの使用を 物品の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門	—

*収集運搬業で「積換保管」の許可は東港金属のみです。

環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、当社の本業が環境活動そのものであるため、環境保全コストの把握が困難であり、今後の課題とさせていただきます。

<参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。

この問題については今後の課題とさせていただきます。平成12年3月 環境庁「環境会計システムの確立に関する検討会「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋

グリーン購入の促進

当社では社内の物品調達について、共有使用できるものやリユースできるものの再使用をすすめておりますが、購入に際しても、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することに努めております。

バリューチェーンにおける環境配慮等の取り組み方針



当社の事業活動におけるバリューチェーンに係わる全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。

7-3 環境に係わる教育・コミュニケーション

環境意識の社内啓発

入社時には環境・衛生の基本教育に加え、当社のビジネスが地球環境保全に直接かかわる事業であることを意識付けするために、事業活動に付随して生じる環境影響と地球環境保全の大切さを伝えております。全社員に向けては、継続的に改善していくための環境マネジメントシステム (ISO14001) について、環境方針と環境管理体制を教育することで、当社の組織の中で、社員全体の環境保全意識と組織力が向上するように継続的な社内啓発に努めています。



移動式クレーン講習

当社業務の中の大きな柱となる物流について、グループ会社 TML 株式会社と共に担当するドライバーがプロとして責任を持って仕事に従事するため、年間教育プログラムや外部講師を招いての講習会を毎月開催しております。

「安全・確実・迅速」をモットーとし、安全が全てに優先することの大切さを始めとして、エコドライブや道交法の確認、周囲への気配り等に社員の意識アップを図っていますが、毎日の健康管理等については特に気を配って、無理のない運行管理をしております。またドライバーには、お客様と直接顔を合わせる会社の顔としての大切なマナーも身につけてもらうために、「マンオブザマンス表彰制度」を設けて、月々の作業姿勢やマナーなどの担当職務に優れたメンバーを表彰しております。また、TML 株式会社では、所属する東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会への参加を奨励しています。

オンライン会議システムの導入

社内工場間の移動時間の削減、ペーパーレス化と在宅勤務を進めたいという狙いのもと、オンライン会議システムを全ての事業所に導入しております。事業所間での個別会議は勿論、定例会議も、それぞれの事業所内および在宅から参加できることは、正確で迅速な意思決定がその場で参加者全員に伝わるなどのメリットに加え、同一資料を相手の顔を見ながら会話できることで、社員の一体感も強くなるという目に見えない付加価値を得られ、更に移動に伴う温室効果ガス (CO2) 排出も抑えられるという経済効果も生み出しています。



社員の主な資格 (資格取得の奨励)

毎日の安全作業のため、又業務効率を Up させるために、重機等機械設備の知識及び作業技能や、担当業務に必要な資格等を修得するよう奨励し、従業員のスキルアップへの指導をしております。

2021年1月1日現在

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
フォークリフト運転技能者	68	けん引免許	7	産業又は特産産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新受講者)	2
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	55	安全衛生推進者	7	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
玉掛作業者	51	危険物取扱者	7	整備管理者	2
車両系建設機械(解体)運転者	37	移動式クレーン運転士	4	救命技能認定	2
小型移動式クレーン運転士	28	防火管理者	4	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
ガス溶接技能者	25	安全管理者	4	PCB廃棄物の収集運搬業従事者(講習)	2
大型自動車免許	19	産業廃棄物処理業者講習会	3	大型自動車二種免許	2
アーク溶接作業者	17	有機溶剤作業主任者	3	破碎・リサイクル施設技術管理士	1
高所作業車運転者	14	第二種電気工事士	3	古物商許可	1
クレーン運転士 5t未満	13	酸素欠乏危険作業主任者	3	特産産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(新規)	1
職長教育	13	足場の組立て等作業主任者	3	産業又は特産産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(更新)	1
安全衛生責任者	11	ISO14001 内部監査員	3	大型自動二輪車免許	1
床上操作式クレーン運転士	10	ISO27001 内部監査員	2	2級土木施工管理技士	1
大型特殊免許	9	クレーンデリック(クレーン限定)	2	特定化学物質作業主任者	1
はい作業主任者	8	冷媒回収技能者(登録講習会)	2	陸災防安全衛生教育講師	1
移動式クレーン運転士 5t未満	7	衛生管理者	2	ダイオキシン類特別教育インストラクター	1

安全衛生環境会議

安全衛生環境会議を隔月で定期的に開催しております。産業医の先生にも参加をお願いし、環境マネジメントシステム上のテーマとその進捗確認、生活の基本となる労働時間短縮を含めた職場環境の改善、メンタルなどの健康問題など、社員の健康保持に気を配ったテーマを意見交換しあい、確認をし、具体的なアクションにつなげています。

会議はオンライン会議システムを使い、在宅勤務者も含めて全事業所全社員が参加をしております。



マンオブザマンス表彰制度 (担当職務に最善を尽くしています)

構内ヤードでの日々のメンテナンスと、安定した業務に努めた方々、輸送部門で安全・迅速・丁寧な運転、効率を考えた運行に努めたメンバーを「月間 MVP」として表彰しています。76期は続くコロナ禍の中、担当業務全体を俯瞰し、感染防止への模範となる活動をしてくださいました。

ヤード部門(マンオブザマンス)



順不同

ドライバー部門(ベストドライバー)



順不同

東港NEWS 羅針盤



お客様及び社員に向けて、環境関連の参考情報として東港金属グループで「羅針盤」を発行しております。

産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や、当社のトピックスを羅針盤というニュース紙として毎月発行しています。

2010年3月に第1号を発行して以来、今年6月で135号となりました。今までのバックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。 <http://www.tokometal.co.jp/rashinban/index.html>



7-4 地域との共生

アースフレンズ東京Z（プロバスケットボールチーム B.LEAGUE）と『パートナー契約』をして環境保全を目指します

当社は、東京都城南地区を本拠地として B.LEAGUE に所属しているプロバスケットボールチームのアースフレンズ東京Z（以下、東京Z）と2019年12月より『パートナー契約』を締結しています。ユニフォームスポンサーとして、東京Zの選手が着用しているユニフォームに、サイクラーズグループのトライシクル株式会社が開発・運営している **ReSACO** <リサコ>のロゴが入っています。



東京Zにはファンクラブがあります。ご興味のある方は是非ご加入ください。

資源回収の呼びかけ



当社提供となった「冠試合」日には、ご家庭で不要になったバックやおもちゃなどのリサイクルできる品物の回収を会場前で呼びかけ、そこで得られた収益をアースフレンズ東京Zへ寄付致しました。勿体ない資源の有効活用です。



当社は公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）のオフィシャルスポンサーです。

当社は環境関連企業として、公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）を通して自転車競技に参加する選手の皆様を応援しております。自転車はジョギングと同じで、人力を動力源としていることから、省エネルギーで無公害の“環境に優しい”乗り物で、地球環境の浄化促進に一層重要な役割を担っていくことと期待されています。日本ナショナルチームのユニホームには「東港金属」のロゴも使われています。

2019年末からの世界中を席卷している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の中で、密にならないこと、運動不足による体力減少を避けるためもあり、改めて自転車が見直され、ツーリングファンも増える中、サイクラーズグループでも KBC (keihinjima-bicycle-club) として活動しています。



富士チャレンジ200（2021年4月25日）に参加したKBCメンバー

会員資格を有する主な委員会及び団体

団体名	役職（代表取締役 福田 隆）
環境省	環境省中央環境審議会専門委員
	地球環境部会所属専門委員
	フロン類等対策小委員会専門委員
（一社）東京と産業資源循環協会	理事
	中間処理委員会・破砕・圧縮分科会リーダー
	*女性部会 幹事
（一社）日本産業機械工業会	環境装置部会 環境ビジネス委員会 委員
（一社）千葉県産業資源循環協会	
（一社）日本鉄リサイクル工業会	
（一社）廃棄物処理施設技術管理協会	
非鉄金属リサイクル全国連合会	リサイクル環境推進部会 部会長
東京非鉄金属商工協同組合	リサイクル環境推進部会 部会長
品川リサイクル事業協同組合カムズ	理事
城南鋳物団地協同組合	理事
電線リサイクル協議会	

*：福田代表取締役以外が就任している部会等

事業所周辺の美化運動

京浜島本社は大田区の京浜島工業団地に位置し、周りを京浜運河が流れています。会社の前は羽田空港のB滑走路に面した海岸線で、離着陸する飛行機を眺めるには最適の「つばさ公園」があり、その北端の芝生広場はバーベキュー可能エリアとなっております。この広々とした地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社周辺の道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。

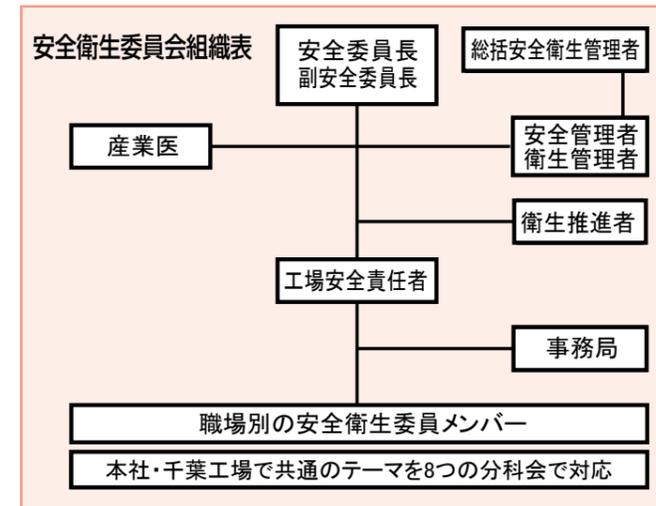


7-5 事業所の安全衛生

社員の安全・健康のために（安全衛生委員会）

当社及びTML株式会社は、「安全は全てに優先する」をモットーに、労働災害を防止し、社員が安全・安心・健康に仕事を遂行できる職場環境を整えるため、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、8つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。委員会には持株会社サイクラーズ株式会社の管理部門からも参画しております。

決定・連絡事項は「安全衛生環境会議」で周知し、具体的なアクションにつなげています。また、毎朝始業時には社員全員で安全唱和をすることで身を引き締めています。



各分科会の目的と対策チームについて

分科会名	目的
1 事故対策分科会	①物損事故の対策 ②労働災害の対策
2 作業標準分科会	①作業手順書の見直し ②運行計画書の見直し
3 設備修繕分科会	①設備点検等の対策 ②機械修繕等の対策
4 環境対策分科会	①敷地内の環境対策 ②粉塵振動の対策
5 防火防災分科会	①火災と非難の対策 ②防災に関する対策
6 交通安全分科会	①安全運行等の対策 ②取引先等安全作業
7 盗難防止分科会	①情報収集の対策 ②盗難警備の対策
8 賞罰審査分科会	①賞罰に関する審査 ②事故に関する査定

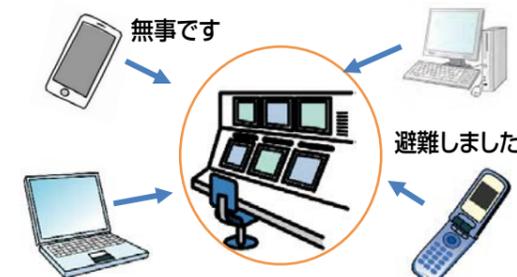
防災訓練（緊急速報に慌てないために）

本社工場は羽田空港の隣、千葉工場は大手製鉄所や東京電力と近接しており、いずれも港湾に面しているため、各地の大震災時の経験を忘れず、不意打ちを想定外と言わないように、防火、防災訓練（消火・避難）を毎月実施しております。

昼間、夜間とも搬入車両の出入りも多く、また工場見学のお客様も増えていることから、不意の災害時に適切な避難誘導が出来るように、数多く訓練の中で災害・防災の正しい知識と技術を習得し、対応できるよう努めています。



社員の安全・健康のために（安全衛生委員会）



7-6 情報セキュリティマネジメントシステム

情報セキュリティマネジメント体制

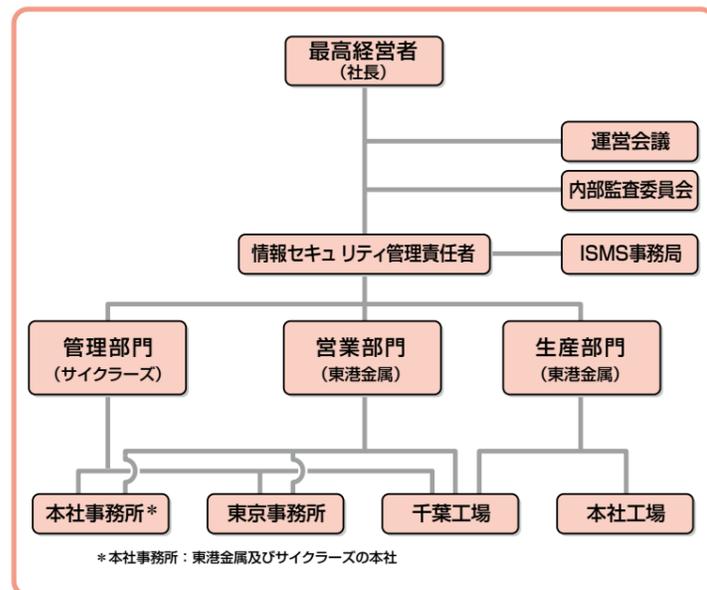
ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

当社は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得をいたしております。

当社は「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがいのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸透を図り、推進してまいります。

また、2020年9月からは持株会社サイクラーズのグループ会社として運営しており、サイクラーズ株式会社も情報セキュリティマネジメントに含めた体制で推進しております。



情報セキュリティ基本方針

1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社及びサイクラーズ株式会社（以下、「当組織」という）は、非鉄金属原料及び製鋼原料等の金属スクラップの加工処理並びに売買、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う関連部門間との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム（以下、「ISMS」という。）規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当組織の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当組織のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当組織の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

2021年1月1日 サイクラーズ株式会社
東港金属株式会社
代表取締役 福田 隆

8 グループ会社

サイクラーズグループのミッションは、サーキュラーエコノミーを実現することです。静脈・動脈産業の垣根を越えて大きな役割を果たすべく、従来のリサイクル事業のみならず、リユース、リメイク、部品取り、リビルド、リマニファクチャリング、リペアなどあらゆるループを推進します。

サーキュラーエコノミーを実現するためには、物流・加工選別能力・スキルなどの現場力とIT、リサイクル技術などのテクノロジーの両方が必要になります。

グループ各社が役割を果たし、サーキュラエコノミーを実現していくためのセンター役を、サイクラーズ株式会社が担ってまいります。

8-1 サイクラーズ株式会社(持株会社)

■会社概要

社名 サイクラーズ株式会社
代表者 代表取締役 福田 隆
設立 2020年(令和2年)9月1日
資本金 1億円
本社 東京都大田区京浜島 2-20-4
事業所 事務所 事業所本社 / 東京事務所 / 千葉事務所

■事業概要

- ・グループの経営企画・財務経理、人事総務等管理部門の統括
 - ・グループ会社からの管理部門業務の受託
 - ・リサイクル業界に関する調査研究及びその受託並びにそれに付帯又は関連する業務
- ウェブサイト <https://www.cyclers.co.jp>



8-2 トライメタルズ株式会社

非鉄金属製品及びスクラップの販売及び輸出入を目的として設立。

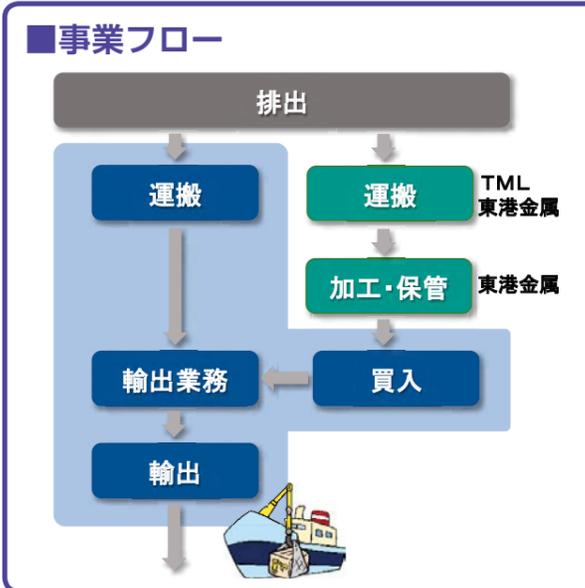
お客様から排出される金属スクラップの収集・運搬及び選別・加工・保管を協力会社（東港グループ）並びに委託会社により行い、輸出及び国内販売に関して、高品質でコストパフォーマンスの良い、資源リサイクルプロセスを実現しております。

■会社概要

社名 トライメタルズ株式会社 (TRI Metals Co.,Ltd)
代表者 代表取締役 福田 隆
設立 2007年(平成19年)3月
資本金 600万円
従業員数 2名(2020年12月末日現在)
(サイクラーズ株式会社との兼務を含む)
年商 11.6億円(2020年12月期)
本社・本社営業所 東京都大田区京浜島 2-20-4
東京事務所 東京都品川区南大井 6-17-17
U biz 大森 2F
ホームページ <http://www.trimetals.co.jp/>

■事業概要

- ・鉄鋼、ステンレス、プラスチック、アルミニウム・銅等非鉄金属製品の加工処理及び販売並びに輸出入
- ・製鋼原料の販売及び輸出入
- ・リサイクル機器並びに中古の建設機械の販売及び輸出入



8-2 TML 株式会社



平成18年(2006年)、東港金属株式会社の協力会社トライマテリアル(株)として創業し、産業廃棄物の収集運搬業務や一般貨物の輸送業務で業績を積み上げてまいりました。令和3年(2021年)1月18日に社名を「TML株式会社」に変更し、サイクルズグループの輸送部門として、ロジスティクスの速度と精度の向上、機能の高度化・国際化を追求し、皆様のご要望に迅速に対応できる物流会社にステップアップすることを目指しています。

■会社概要

社名 TML株式会社
<http://www.trimaterial.co.jp/>
 代表者 代表取締役 青木秀夫
 設立 2006年(平成18年)1月
 資本金 1,000万円
 従業員数 20名(2020年12月末日現在)
 年商 約2.4億円(2020年12月期)
 本社・本社営業所 東京都大田区京浜島 2-19-10
 主な取引先 東港金属株式会社

■環境方針

TML 株式会社は、東港金属株式会社の協力会社として同社の環境方針に同調し、資源循環型社会の一翼を担う産業廃棄物の収集運搬業者として、環境負荷の少ない事業活動に取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当社が行う事業活動及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

◇ 各種収集運搬用に供する車両で使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇を抑制することに努めます。

2021年2月1日
 TML 株式会社
 代表取締役 青木 秀夫

■社員の主な資格一覧

2021年1月1日

資格区分	人数
大型自動車免許	19
フォークリフト運転技能者	18
玉掛作業者	13
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	13
小型移動式クレーン運転士	12
車両系建設機械(解体)運転者	10
普通自動車二輪免許	10
けん引免許	8
ガス溶接技能者	6
アーク溶接作業	3
大型特殊免許	3
床上操作式クレーン運転士	2
高所作業車運転者	2
安全衛生推進者	2
整備管理者	2
運行管理者	2
救命技能認定	2
職長教育	2
はい作業主任者	1
大型自動車二種免許	1
第二種電気工事士	1
足場の組立て等作業主任者	1
安全衛生責任者	1
交通労働災害防止担当管理者	1

■沿革

年	月	内容
2006年	1月	「トライマテリアル株式会社」として、東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立 東京都大田区京浜島に東京営業所を設立
	6月	一般貨物自動車運送事業許可
	7月	各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始
2008年	3月	東京都港区に本社移転
2009年	7月	ISO14001 本社営業所で認証取得(東港金属株式会社と合同認証)
2010年	2月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
2011年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
2012年	3月	東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の優良認定取得
	11月	東京都大田区に本社移転
2014年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新
2015年	7月~11月	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2016年	12月	岩手で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2018年	4月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新 静岡県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定取得
2020年	4月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新
	9月	持株会社サイクルズ株式会社のグループ会社となる
2021年	1月	社名を「TML株式会社」に変更

8-3 トライシクル株式会社



■会社概要

社名 トライシクル株式会社
 代表者 代表取締役 福田 隆
 設立 2018年(平成30年)5月
 資本金 1,000万円
 所在地 東京都品川区南大井 6-17-17 U biz 大森4F
 ホームページ <https://tricycle-ce.com>

■事業概要

企業間での、リユース、リサイクル、廃棄までの取引を行うプラットフォームサービスを提供します

- ・インターネットサービスの開発、運営及び販売
- ・インターネットサイトの運営
- ・ソフト開発と販売
- ・中古品の販売、加工
- ・動画配信、メールマガジンの配信
- ・リサイクル製品の販売
- ・リサイクル設備機器の開発と販売
- ・不動産賃貸
- ・上記各号に付随する一切の事業

■目指すところ

テクノロジー×イノベーションで理想の循環型社会を創る
 目指すはサーキュラー・エコノミー

サイクルズグループのトライシクルの目指す経済社会モデルは、サーキュラー・エコノミー(CE)です。CEの根底にある考えは、無駄を減らすこと。そしてその無駄をリサイクルしていくことで新たな価値へと変化させ“負”から“富”へと変えていくことが、このCEの価値でもあります。

リサイクルやリユースなどを通じて、製品ライフサイクルの“Close the Loop”(ループを閉じる)を実現するCEですが、わが国では江戸時代、これに近いモデルをすでに構築していたと言われています。傘が破れば貼り替え、草履は手直しし、それでも使えなくなれば堆肥としてリサイクルしていました。しかし戦後の高度経済成長により、大量生産・大量消費・大量廃棄に変化したことにより、現在では「2030年には、地球2個分以上の資源がないと現在の消費は維持できない」(WWF Living Planet Report)、「2050年には、世界の廃棄物発生量が2010年の2倍以上となる」(環境省 平成28年版 環境・循環型社会・生物多様性白書)と言われるほどの資源不足と廃棄問題に直面しているのです。

トライシクルでは、未来の地球・そこに住む未来の子供たちのために、CEの実現に向けて挑戦をしていきます。



不用品のB2Bサービス『ReSACO』

『ReSACO』(リサコ)は、企業が不用となったモノを最適な方法と価格で売り、そのモノを最適な形で必要な方に提供するマッチング機能と、資源リサイクルや廃棄物処理を効率化、最適化する機能を持った世界初のB2Bサーキュラー・エコノミー対応プラットフォームです。



不用品の一括お任せサービスや無料回収サービス、フリマサービスなど、不用品を処理したい企業のニーズやウォンツに合わせて、最適な方法を提案致します。

リサイクルだけではなく、サーキュラー・エコノミーの様々な価値体験をお届けするサービスです。

<https://resaco.id/>



産廃・建廃・一般廃委託契約の電子化サービス『エコドラフト with クラウドサイン』

『エコドラフト with クラウドサイン』は、産廃事業者で事務作業の負担が大きい廃棄物処理委託契約書の作成、締結、管理といった業務を電子契約化することで、作業負担の大幅な軽減を実現するSaaS型サービスです。

ブラウザを立ち上げ『エコドラフト』へログインし、指定された必要事項を入力するだけで産廃・建廃・一般廃の委託契約書が完成。契約書データは弁護士ドットコムが運営する『クラウドサイン』へAPI連携によって自動で送信され、簡単に電子契約締結が可能となる利便性の高さが特徴です。印紙代も不要となり、郵送作業や返送管理、ファイリングの作業も無くなることから、管理コストの削減も実現します。

また、高度なセキュリティオプションも備え、(公社)全国産業資源循環連合会の標準様式を使用した電子契約も締結可能となるなど、日々アップデートを重ねています。
<https://ecodraft.id/>

